



平成 30 年度を振り返って



2019.3.29 高見保育園

今年の桜の開花は早かったですね。園庭の桜の花も綺麗に咲き始めました。今年度も大きな事故や怪我もなく無事終えようとしています。保護者の皆様には日頃よりご理解とご協力を頂き、感謝しております。新年度を迎えるにあたって、30年度の振り返りを乳児クラス・幼児年齢担任・ホーム担任の3グループに分かれ、行いましたので、ご報告したいと思います。

乳児クラスでは、今年度より0歳児クラス(ひよこぐみ)を1階保育室に移動しました。1歳児クラスと同じ階にすることで、子ども同士また職員同士もコミュニケーションを取る機会が増えました。活動では、自然に親しむ、散歩に出掛けるなど、戸外活動が活発に行われました。子ども一人ひとりと向き合い、信頼関係を築きことができました。職員同士話し合う機会をたくさんもつことで連携がとれた一方、排泄や食事等、時間に追われ、一人ひとり丁寧にみてあげることができなかつたという反省も上がりました。また、1歳児クラスでは、一斉保育から子どもを主体として保育を考え、流れる保育を取り入れました。試行錯誤しながら、手探りで始めた保育。子どもにとってより良い保育とは。自問自答しながら毎日話し合い、少しずつ形となってきましたが、まだまだ、改善しなければならない事があります。日々勉強を重ね、次年度に繋げていきたいと考えています。

年齢活動(2~5歳児)では、どの年齢もそれぞれの年齢の発達や子ども達のやりたい意欲を汲み取り、活動することができました。時間数の関係で、1つ1つの活動を充実させることができなかった、活動の計画(内容)が多すぎて中途半端になってしまった活動があったなどの反省がありました。体操教室や英語遊びも大切な活動ではありますが、全体的なバランスを考え、無理なく活動ができるよう見直す必要があるようです。また、支援が必要な子に対しては、職員に余裕があればもっとゆとりをもって関わることができたのでは、という意見もありました。

ホームでは、2歳児から5歳児まで年齢の幅広い子ども達ですが、それぞれの年齢は少人数であるということから、一人ひとりに合わせた目標をたて、褒めて伸ばすことができ、特に2歳児に対してゆったりと対応することができました。その反面、後半になり自立を促す時期になっても手をかけすぎてしまったという反省もありました。ホーム活動においても今年度より週案を取り入れたことにより、ホームルームの時間など、見通しをもって行うことができたようです。

勤務時間の変更による平日休みの職員やキャリアアップ等保育の質の向上のための研修参加にて出勤していない職員がいるなど、職員同士のコミュニケーションを取る時間がないため、園内研修を増やし、同じ目標をもって保育できるよう園全体で取り組んできました。保護者の方々には、ご迷惑をおかけしたこともあったかもしれません。園内研修や園外研修で得た知識を日頃の保育で生かし、子どもの最善の利益を守りつつ、時代に合った保育を進めていかれるように今後も職員一同努力していきたいと思ひます。保護者の皆様には今まで同様、高見保育園の運営にご理解とご協力をお願い致します。

駐車場に関しては、混雑をし、保護者の方にご迷惑をおかけして、申し訳ありません。近隣の方より指摘も受けています。現在、新たなルール作りを思案中です。お互いに気持ち良く利用できるようにしたいと思ひますので、合わせてよろしくお願ひ致します。

